

## マレーシアからの旅行者獲得を目指せ！ ～マレーシア旅行フェア 「MATTA FAIR Kuala Lumpur 2013」に参加～

自治体国際化協会シンガポール事務所は、2013 年 3 月 15 日（金）から 17 日（日）まで、マレーシア・クアラルンプールで開催された「MATTA FAIR Kuala Lumpur 2013」に参加し、日本政府観光局（JNTO）と協力してジャパン・パビリオンのビジット・ジャパン（VJ）ブースにおいて、来場者に対し観光パンフレット等の配布・説明を行いました。日本各地の観光 PR を通じて得た、マレーシアからの観光客誘致を行う上でのヒントとなる情報を報告します。

### 1. ジャパン・パビリオンへの出展

今回、JNTO が設けたジャパン・パビリオンには、日本各地の観光関連団体等 10 団体が出展しました。

#### 【出展団体】

北海道観光振興機構、札幌 かに本家、東北観光推進機構、株式会社オリエンタルランド、株式会社プリンスホテル、マレーシアハラルコーポレーション株式会社、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン、中部国際空港利用促進協議会、横浜市文化観光局観光振興課、富士箱根伊豆国際観光テーマ地区推進協議会

ジャパン・パビリオン内の VJ ブースでは、訪日旅行に関する総合的な案内窓口として、来場者への各種観光パンフレットの配布や説明、質問への対応のほか、来場者のうち日本旅行商品購入者を対象とした抽選が行われました。

また、日本大使館による査証相談コーナーが併設され、同館職員が数次査証に関する PR と来場者からの質問への対応を行いました。大使館の対応窓口でも途切れることなく相談を受けている状況でした。

### ◆ マレーシアの訪日旅行市場

JNTO によると、2012 年のマレーシアからの訪日旅行者は 13 万人を超え、過去最高となっています。中間所得層の所得増加や LCC の就航により、今後ますます訪日旅行者が増加することが期待されています。なお、これまで中華系マレー人の富裕層が主流であったマレーシアにおける訪日旅行市場ですが、マレー人の所得水準の上昇や LCC の就航などを理由に、今後はマレー系の占める割合が拡大することが予想されています。

また、日本と同様に桜や温泉、雪などを PR している韓国・台湾・香港などでは積極的な広告等で旅行者の獲得を図っており、2012 年のマレーシアから韓国への訪問者は 15 万人を超えている状況とのことです。

◆ ムスリム（イスラム教徒）の訪日旅行の増大への期待

訪日旅行関係者の多くが期待していることが、今後のムスリム旅行者の増大です。今回の MATTA Fair でも、多くの旅行会社がムスリム旅行者向けのパッケージツアーを販売しており、マレー系の来場者も増加傾向にあるようです。

JNTO では「Japan Travel Guide for Muslim Visitors」という冊子を作成し、今回の MATTA Fair から配布を開始しています。この冊子の中では、ハラルのレストラン情報、各地のモスクの情報に加えて、東京・大阪など人気の観光地が紹介されています。VJカウンターを訪れたムスリムの方にこの冊子を渡したところ、大変喜ばれており、こうした対応が旅行先を検討する際の安心感につながることを感じました。

北海道観光振興機構や横浜市のカウンターでも、ムスリム向けのレストランやモスクに関する資料を準備するなど、各地でムスリム旅行者に必要な情報を提供する体制が整備されつつあるようです。また今回、VJブースの中にマレーシアハラルコーポレーションが初めて出展し、来場者向けに日本でのハラル対応などについて情報提供を行い、多くの一般消費者や旅行エージェントから質問を受けていました。

なお、台湾や韓国なども同様にムスリム旅行者向けのガイド冊子を配布し、情報を提供していました。



ムスリム旅行者向けパンフレット

2. 旅行先はゴールデンルートが中心

今回、VJブースで来場者への説明に当たったところ、ゴールデンルート（東京・大阪・京都・富士山）、北海道に関する質問が大部分を占めました。エアアジアのブースが近かったこともあり、エアアジアのクアラルンプールからの直行便が就航している東京及び大阪にFITで来日を予定している人が情報収集を行っている様子が窺えました。また、大阪から入国して京都や富士山を訪問し東京から出国する（又はその逆）というルートで旅行を計画されている人が多い印象でした。なお、北海道については雪やラベンダーのイメージが定着しつつあり、東京を經由して北海道に行きたい、という旅行者も多数見られました。



来場者で賑わう VJ ブース

その他の地方都市に関しては知名度が低いのが現状のようですが、テレビで沖縄を知った方から沖縄の情報を求められる場面や、既に東京・大阪を訪問した方が九州の温泉地や中部地方などの情報を求めて来られることもあり、旅行先が徐々に多様化している状況が感じられました。日本の多様な魅力を知ってもらうためには、商品化に向けての旅行会社への継続的な働きかけや市場への効果的なプロモーションが必要であると考えられます。



来場者が絶えない北海道ブース

なお、VJブースにおいて東日本大震災や原発事故の影響を懸念する質問を受けることはほとんどありませんでした。

来場者から寄せられた質問等は以下の通りです。

	質問事項
季節について	<ul style="list-style-type: none"><li>・桜の見頃はいつか。</li><li>・旅行するのに良いのは何月か。</li><li>・6月に旅行を予定しているが気候はどうか。</li></ul>
交通アクセスについて	<ul style="list-style-type: none"><li>・エアアジアD7522 便を利用するため、羽田空港到着が23時頃になる。同日、公共交通機関を利用して都内のホテルまで移動可能か。また、羽田空港にホテルは併設されているか。</li><li>・JRパスの価格、利用可能区間、購入方法</li><li>・主要都市間の所要時間（大阪・京都間、京都・奈良間、大阪・東京間など）</li></ul>
訪問先について	<ul style="list-style-type: none"><li>・東京を訪れる予定だが、どこに行ったらよいか。</li><li>・大阪及び京都を訪れる予定だが、どこに行ったらよいか。</li><li>・東京または大阪近郊の温泉地はどこか。</li><li>・東京、大阪、京都を訪れたいが、それぞれ何日程度滞在すれば主な観光地を回れるか。</li><li>・東京、大阪で桜がきれいな場所はどこか。</li><li>・ジブリ美術館、藤子不二雄ミュージアムの予約方法。</li></ul>
宿泊先について	<ul style="list-style-type: none"><li>・東京または大阪近郊を観光するのに便利な宿泊地はどこか。</li></ul>

## 3. 自治体関係出展者の声等

今回の MATTA Fair に出展された地域観光推進機構等から今回の来場者の反応などを伺いました。

北海道観光振興機構	<p>ここ数回 MATTA に出展を続けているが、過去に比べてムスリムの来場者が増えているように感じる。今回ムスリムの来場者向けの資料が喜ばれた。北海道についてよく調べているという人よりも、雪やラベンダーなどの漠然としたイメージだけを持っていて、いつ行ったらいいかなどの問い合わせが多かった。</p>
東北観光推進機構	<p>シンガポールでの NATAS 出展時に比べて震災の影響を質問されることが少なかった。知名度の低い温泉地について問い合わせを受けることもあり、徐々に震災の影響から脱しつつあるのではないかと考えている。</p>
中部国際空港利用促進協議会	<p>2 年ぐらい前から中国市場を目指し、活動を行っていたが、尖閣諸島問題が起これ、ASEAN 市場でのプロモーションに切り替えた。多くの人に中部地方への関心を持っていただいている。アクセス、宿泊先、どういったことができるかなど、多くの質問をいただいている。日本の地方の詳細な情報を求めてブースに来られている。</p>
横浜市文化観光局観光振興課	<p>来年度から横浜市がマレーシアを重点市場として指定したことから、市場調査も兼ねて今回の MATTA に出展した。ムスリムの来訪者向けにレストランリストやモスクの情報を準備してきたが、求められる場面は思っていた程多くなかった。横浜市の観光資源に対する反応は悪くなかったことから、今後もマレーシアでの活動を継続していきたい。</p>
富士箱根伊豆国際観光テーマ地区推進協議会	<p>エアアジアのチケットで東京に着いてからの周辺移動や訪問先についての問い合わせが多い。タイではパックツアーを購入し、さらにプラスアルファで何かしたいという様子だったが少し状況が違うようである。</p> <p>質問は、非常に細かな点が多く、かなり調べているようである。</p>

#### 4. MATTA FAIR 概要

MATTA FAIR は、マレーシア旅行業協会 MATTA (Malaysian Association of Tour and Travel Agents) がマレーシア国内の主要都市で年間を通して開催している一般旅行者向けの国際旅行博です。その中でも、例年 3 月と 8~9 月頃の 2 回、首都クアラルンプールで国内最大規模のものが開催されます。



今回の開催概要は以下のとおりです。

開場前からチケット売り場には長蛇の列

開催日時	2013 年 3 月 15 日 (金) ~ 17 日 (日)
開催地	Putra World Trade Centre (PWTC) Hall1~Hall3
来場者	100,188 人 (過去最大)
出展団体総数	612 (旅行会社、各国政府観光局 など)
売上総額	1 億 5 千万リンギット (約 50 億円)

CLAIR シンガポール事務所では今後も、マレーシアをはじめ ASEAN・インド地域における観光関連事業を通じ、自治体の観光客誘致の取組を支援してまいりますので、御活用ください。

(則松所長補佐 福岡県北九州市派遣)

(吉本所長補佐 鹿児島県派遣)